

令和 元年 9 月

計 量 管 理

NO. 193

(一社)新潟県計量協会
計 量 管 理 部 会

目 次

1	計量管理部会長就任にあたり	1
2	協会理事会開催される	2
3	第8回定時総会開催される	2
4	部会理事会開催される	5
5	地区計量管理研究会の開催について	8
6	新潟県指定定期検査機関検査業務について	10
7	新潟市指定定期検査機関検査業務について	10
8	長岡市指定定期検査機関検査業務について	11
9	上越市指定定期検査機関検査業務について	11
10	所在場所基準器検査について	12
11	計量技術講習会の開催について	13
12	計量ホットライン（新潟県計量検定所からのお知らせ）	
	ものづくり体験教室	14
	自動捕捉式はかりの検定制度が始まりました	16
13	DVDの貸出について	17
14	計量記念日ポスター・計量のひろばの配布について	18
15	会員名簿の変更について	19

計量管理部会長 就任にあたり



一般社団法人 新潟県計量協会
計量管理部会 部会長

日本製鉄株式会社 直江津製造所
製造部設備室
主幹 茶谷 力生

この度、第8回定時総会における役員改選にて計量管理部会長に選出されました茶谷です。就任にあたりご挨拶申し上げます。

会員の皆様には日頃より計量協会の活動にご支援、ご協力頂きまして深く感謝申し上げます。

計量管理部会の事業は、所在場所基準器検査あっせん、計量管理強調月間事業及び計量管理に関する技術講習会の開催などとなっております。

機関誌の発刊、標語やポスター募集による啓発活動、計量技術講習会などの年間活動を通して、計量に関する知識及び技術の向上を図るとともに、「計量の役割の大切さ」を広げていけるよう活動してまいります。

会員各位におかれましては、計量協会ならびに計量管理部会の更なる発展のため、今後とも各事業への積極的な参加とご支援をお願いいたします。

最後に、会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

協会理事会開催される

(一社)新潟県計量協会の理事会が、5月30日(木)午後1時30分、三条市横町2丁目「餞心亭・おゝ乃」において、17名の出席を得て開催されました。

下記の議題について審議され、いずれも異議なく承認されました。



【協会理事会】

議 題

第1号議案

平成30年度会務事業報告について

第2号議案

平成30年度収支計算書(案)の承認及び会計監査について

第3号議案

令和元年度事業計画及び収支予算書の承認について

第4号議案

役員提案議題について

第5号議案

その他について

第8回定時総会開催される

去る5月30日(木)午後3時30分より、三条市横町2丁目「餞心亭・おゝ乃」で、第8回定時総会が開催されました。

当日は、新潟県産業労働部部長 橋本一浩様(代理:金井産業労働部産業政策課長)、県計量検定所所長西片一喜様を来賓に迎え、委任状を含め404名の出席を得て盛大に開催されました。



【第8回定時総会】

総会に先立ち平成30年度計量関係功労者の表彰式が行われ、計量管理部会からは、次の方が表彰されました。

◎ 計量関係功労者

パナソニック(株)

ライフソリューションズ社

柄澤 浩 様



住友電工ウインテック(株)

石曾根 由 明 様



当日は下記の議事について審議並びに報告が行われ、いずれも異議なく承認されました。

議 事

【議 案】

第1号議案 平成30年度会務事業報告について

第2号議案 平成30年度収支計算書(案)の承認及び会計監査結果報告について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 会員提案議題について

【報告事項】

報告事項1 平成30年度収支予算補正について

報告事項2 2019年度事業計画及び収支予算書について

報告事項3 その他について

◎ 定時総会終了後に、大平新会長より退任された金井前会長に感謝状と記念品が贈呈されました。



【感謝状の贈呈】

また、第3号議案で役員の改選により、下記役員名簿のとおり承認されました。

一般社団法人新潟県計量協会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属 部 会	名 称	備 考
会 長	大平 岳男	計量士部会	計量士	新 任
副 会 長	田中 康之	計量器部会	(株)田中衡機工業所	
副 会 長	川口 勉	計量器部会	(株)川口造吉商店	
副 会 長	茶谷 力生	計量管理部会	日本製鉄(株)直江津製造所	新 任
副 会 長	宮田 康雄	計量証明部会	(株)宮田才吉商店	
副 会 長	島田 茂和	計量士部会	計量士	新 任
専務理事	小島 秀俊	協会事務局	(一社)新潟県計量協会	
理 事	渡辺 徹	計量器部会	シンワ測定(株)	
理 事	南 和浩	計量器部会	日本精機(株)	新 任
理 事	田村 卓	計量器部会	(株)タツノ新潟営業所	
理 事	高森 武志	計量器部会	高森コーキ(株)	
理 事	高橋 宏明	計量器部会	(株)高橋はかりや	
理 事	山形 康二	計量管理部会	清水商事(株)	新 任
理 事	関本 里絵	計量管理部会	パナソニック(株) ライフソリューションズ社	新 任
理 事	長井 利暁	計量管理部会	(株)キュービット	新 任
理 事	渡邊 望	計量管理部会	日本精機(株)高見事業所	新 任
理 事	山本 繁	計量管理部会	デンカ(株)青海工場	新 任
理 事	岡田 幸男	計量管理部会	住友電工ウインテック(株) 田口事業所	新 任
理 事	野口 浩章	計量証明部会	(株)リンコーコーポレーション	新 任
理 事	中村 信一	計量証明部会	北興商事(株)	
理 事	五十嵐 一人	計量士部会	計量士	
監 事	田邊 敏夫	計量器部会	(株)田辺喜平商店	
監 事	大島 正男	計量士部会	計量士	

部会理事会開催される

9月19日（木）に三条市興野1丁目県三条地域振興局「第一会議室」において、部会長、副部会長、部会理事の出席を得て部会理事会が開催されました。

概況は次の通りです。

1 計量管理強調月間行事用ポスター・標語の審査について

事務局から、配付資料の「ポスター・標語の選考要領」について説明が行われ審査に入った。

はじめにポスターについて、事務局から今年の応募作品は8作であるとの説明があり、審査員6名で投票形式により入選作品1作、佳作3作を決定した。

続いて、標語の審査に入り、応募作品が425作と多かったことから、事前に各審査委員から点数制で審査をしてもらった審査結果の中の高得点を得た22作を対象として、投票形式で審査が行われ、別記「ポスター・標語審査結果」のとおり、入選2作、佳作3作が決定した。



【部会理事会】

2 今後の部会事業の予定について

事務局から配布資料に基づいて今後の予定について説明がなされた。

その中で、例年11月に開催している計量技術講習会について、次のとおり開催場所と日時と当日のテーマ等について、事務局案の説明がなされ、承認された。

- ・ 開催日時 令和元年 11月 12日 (火)
- ・ 開催場所 長岡市 アトリウム長岡「大会議室」
- ・ 講習内容
 - 午前の部 (午前 10時～12時)
 - 講習科目
「適正計量管理事業所における計量関係法令等」
 - 講師
一般社団法人新潟県計量協会 職員
 - 午後の部 (午後 1時～3時 30分)
 - 講習科目
(仮)「圧力計について」
 - 講師
長野計器株式会社 製造本部 品質保証部
部長 久保田 智広 氏

3 その他について

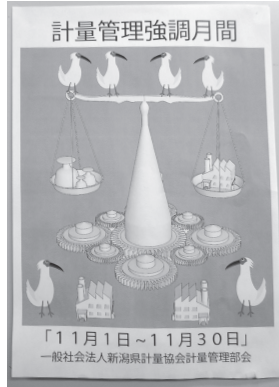
事務局から、10月に功労者の推薦依頼文を発送するので、推薦してほしい旨の要請がなされた。

《ポスター・標語審査結果》

◎ ポスター

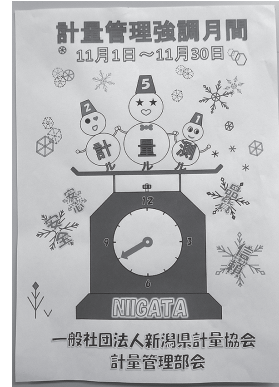
《入 選》

三菱ケミカルハイテクニカ(株)
上越テクノセンター
石 田 秀 一 様



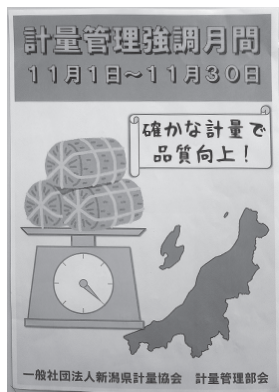
《佳 作》

岩塚製菓(株)
辻 幸 夫 様



《佳 作》

三菱ケミカルハイテクニカ(株)
上越テクノセンター
堀 内 祐 志 様



《佳 作》

日揮触媒化成(株)
島 田 聡 浩 様



◎ 標 語

- | | | | |
|-----|----------------------------|---------|---|
| 入 選 | 「新たな時代につなげる品質 未来へ送ろう 計量管理」 | | |
| | 三菱ガス化学(株)新潟工場 | 西 山 大 輔 | 様 |
| 入 選 | 「確かな品質 つながる信頼 心をつなぐ計量管理」 | | |
| | 三菱ガス化学(株)新潟工場 | 風 間 良 | 様 |
| 佳 作 | 「ぶれない姿勢 ぶれない視線 表示を見つめる厳しい目 | | |
| | 日本曹達(株)二本木工場 | 岡 田 卓 郎 | 様 |
| 佳 作 | 「品質と信頼生み出す計量管理 ひとりひとりの意識から | | |
| | 三菱ガス化学(株)新潟工場 | 望 月 博 史 | 様 |
| 佳 作 | 「確かな技術で正しい計量 品質向上 築く信頼」 | | |
| | 三菱ガス化学(株)新潟工場 | 小 林 雄 大 | 様 |

地区計量管理研究会の開催について

◎中越地区計量管理研究会

株式会社ブルボン
計量士 黒坂 篤志（記）

第2回中越地区計量管理研究会が株式会社ブルボンの当番で9月28日（土）、8事業所8名、来賓1名の出席で開催されました。

柏崎市駅前1-3-1株式会社ブルボンにおいて、当番事業所である株式会社ブルボン計量士 黒坂篤志の進行により、ブルボン本社ビル13階にて展望フロア一見学、1階フロアにて弊社概要説明と、同じく1階商談室にて計量検査報告会での計量器実器教育方法実演・質疑応答がされました。引き続き、柏崎市柳橋町10-43 駅裏漁港けんじろうに移り（一社）新潟県計量協会技師 早川忠孝氏から挨拶・乾杯の後 研究会（懇親会）が行われ、事前アンケート報告内容や計量管理などについて情報交換されました。

次回当番事業所も、引き続き株式会社ブルボンの引き受けとなります。

昨年から再開して、今年で2回目となります。

「中越地区」と名を残しておりますが、私 黒坂と名刺交換の後 再会やメール交流のある約80名（新潟県 下越・上越地区の他、北は北海道から南は大分県まで）の計量に従事される方々へも案内を出させていただきました。

また「研究会」と名を残しておりますが、休日開催とし、計量に従事される方々が参加しやすい場として、加えて、「孤独感」が少しでも解消され、気軽に相談できる顔の見える信頼関係を築ける場として考えております。

以下、会の事前に取りましたアンケートの回答と開催者からのコメントのごく一部を掲載致します。欠席の皆様含め、22名の皆様から回答をいただきました。ありがとうございました。皆様の回答を紹介できず、申し訳ありません。

【質問】どのような経緯で計量業務にかかわる事になりましたか。

【T氏回答】入社時の研修レポートで、単位の表示が”Kg”の箇所があり、Kの大文字は間違っていると記載した所、計量担当者より声がかかり、一般計量士受験を推薦されました。

【コメント】機会があれば、私が計量業務に従事されている方にお聞きする質問です。全国に名の轟く計量士さんでさえ、自ら積極的に計量の世界に飛び込む方はなかなかおられません。その中、Tさんの経緯は計量の世界に招かれた特別な方と感じます。今後の益々のご活躍を期待しております。

【質問】計量に関して困った際、相談相手はいらっしゃいますか？

【H氏回答】今は前任者の方に教えていただけのですが、前任者が定年退職すると、一人ですべて行わなければいけないので、少し不安を感じています。

【コメント】Hさんは当日欠席でしたが、何かお困りの際は気軽に まず私にご相談ください。可能な限りお答えしますし、もっと詳しい方も紹介致します。不安を一人で抱え込まない為に再開した会ですので。

【質問】自動はかりが法規制され、不安な点があれば具体的に。

【E氏回答】不安はありませんが、自動捕捉式はかりにあっては、最小測定量付近の試験方法は特に留意してください。最大許容標準偏差の数値が小さい。

【コメント】まだ実際私達が気付いていない点のご指摘です。ありがとうございました。Eさんも当日欠席ですが、実務に関しては、我々にとっては信頼のおける方です。今後ともご指導宜しくお願い致します。他に8名の方が、アンケート回答にて様々な点で実際不安に感じておられていました。

アンケートの全質問とその集計結果など、ご興味ご意見を承ります。新潟県計量協会様へお問い合わせください。



第2回 中越地区計量管理研究会出席者
(ブルボン本社13階 展望室にて、撮影者 黒坂を除く)

新潟県指定定期検査機関 検査業務について

令和元年度の新潟県指定定期検査機関の検査は、5月8日弥彦村を皮切りに、9市3町2村の検査がスタートしました。

今後、実施される検査日程は下記のとおりです。

10月 9日～10月30日（土日祝日を除く） 三条市



【新潟県定期検査】

新潟市指定定期検査機関 検査業務について

令和元年度の新潟市指定定期検査機関の検査は、5月20日新潟市北区を皮切りに、検査がスタートしました。

今後、実施される検査日程は下記のとおりです。

巡回検査

9月2日～10月15日（土日祝日を除く）
中央区（東・南出張所管内）

長岡市指定定期検査機関 検査業務について

令和元年度の長岡市指定定期検査機関の集合検査は、6月4日から検査がスタートし、6月21日で終了しました。

- ・ 検査地域 旧栃尾市、旧寺泊町、旧与板町、旧越路町、旧三島町、旧和島村、旧小国町、旧中之島町
- ・ 日 数 14日間
- ・ 受検戸数 332戸
- ・ 検査個数（分銅類を含む）
1,088個



【長岡市定期検査】

上越市指定定期検査機関 検査業務について

令和元年度の上越市指定定期検査機関の集合検査は、7月1日から検査がスタートし、8月28日で終了しました。

- ・ 検査地域 旧上越市、旧柿崎町、旧大潟町、旧頸城村、旧吉川町、旧大島村、旧名立町、旧清里村、旧牧村、旧板倉町、旧浦川原村、旧中郷村、旧三和村、旧安塚町
- ・ 日 数 30日間
- ・ 受検戸数 820戸
- ・ 検査個数（分銅類を含む）
2,521個



【上越市定期検査】

所在場所基準器検査について

今年度の圧力基準器並びに質量基準器の所在場所基準器検査は、関係事業者の方のご協力により、滞りなく終了することが出来ました。厚くお礼申し上げます。

検査日：平成31年4月15日～18日（4日間）

検査官：国立研究開発法人産業技術総合研究所

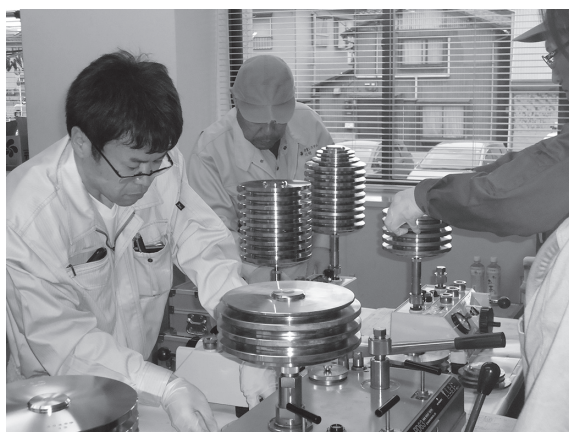
工学計測標準研究部門

計量器試験技術グループ 堀越 努

検査台数：圧力基準器 重錘型 12台

液柱型 5台

質量基準器 天ビン 1台



【圧力計の検査】

なお、令和2年度の検査についての照会文を、後日お送りいたしますので、受検希望がありましたら、11月29日（金）までに、申込みをお願いいたします。

計量技術講習会の開催について

令和元年度の計量技術講習会が、計量管理の推進と計量技術の向上を図るために、11月12日（火）に長岡市の「アトリウム長岡」で開催されます。

会員の皆様に既にご案内してありますので、多数のご参加をお待ちしております。

開催日時 令和 元年 11月 12日（火）
 午前 10時～午後 3時 30分

開催場所 「アトリウム長岡」2階「大会議室」
 長岡市弓町 1-5-1 TEL 0258-30-1258

講習内容

午前の部 （午前 10時～12時）

○講習科目

「適正計量管理事業所における計量関係法令等」

○講師

一般社団法人新潟県計量協会 職員

午後の部 （午後 1時～3時 30分）

○講習科目

「圧力計 ～使用と管理～」

○講師

長野計器(株) 製造本部 品質保証部
部長 久保田 智広 氏

◇◇◇ 計量ホットライン ◇◇◇

新潟県計量検定所

住所：〒955-0046

三条市興野1丁目13番45号

ものづくり体験教室2019

今年も小学生等を対象に三条テクノスクールが主催する「ものづくり体験教室2019」が8月24日（土）に開催され、計量検定所ものづくりなどのブースを出展しました。

テクノスクールのメカトロニクス科、工業デザイン科、生産システム科などの各訓練科の特色を生かしたものづくりや、ミニたみづくりなどを体験できるイベントで、大勢の家族連れなどで賑わいました。

計量検定所では、計量制度の普及を目的として、「はかる」をコンセプトに「棒はかりづくり」体験や「計量ミニゲーム」を実施しました。

(1) 「棒はかりづくり教室」

今年はペットボトルを支柱にして、工作キットを使った「棒はかり(天びん)づくり」を体験してもらいました。

小さな子供でも、大人の手を借りれば10分程度で作ることができる簡単な工作です。

両側の皿に同じ重さをのせてつり合わせる天びんの原理を教えて、あめ玉の重さをはかって電気式のはかりで答え合わせをします。



でき上がりイメージ

用意された分銅を皿にのせて、あめ玉の重さをはかりますが、いきなり重たい分銅をのせるとペットボトルが倒れてしまいます。

みなさん苦労しながらも、楽しくはかって遊んでいきました。

キットには5gのおもりが2つ入っていましたが、もっと細かく計りたいときは1円玉が1つだいたい1gであることを教えて、「1円玉何個分かで色々な物の重さをはかってね。」とアドバイスしました。

(2) 「計量ミニゲーム」

例年、子どもたちに人気の計量ミニゲーム。今年は「計量つりぼり」と「1キログラムチャレンジ」を実施しました。合わせて240人ほどの子どもたちが挑戦してくれました。

<計量つりぼり>



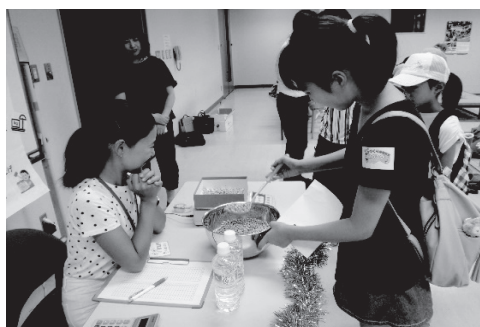
まず、ビニールプールに入ったいろいろな重さの景品の中から好きなものを選んで釣り上げます。

次は、釣った景品の重さ当て。



釣った景品と分銅とどちらが重いか比べて、当たればピタリ賞がもらえます。

<1キログラムチャレンジ>



1キログラムを予想して、大豆をお玉ですくって箱に計り取ります。

途中で、はかりの目盛りを見るチャンスは1回だけ。大豆を出し入れして2回目で答え合わせをします。誤差50g以内で景品をプレゼント。中には0.2gの誤差で計り取った子もいました。

重さの見本として、500mlのペットボトル2本を用意して重さを比べてもらいました。

大豆がこぼれて机から落ちたり、悩みに悩んではかり取るのに時間が掛かったりして、一時は行列ができるほどの大盛況でした。



キログラムの定義改正にちなんで考えたゲームでしたが、普段は所長室に飾られている「キログラム原器」のレプリカを展示したり、新しいキログラムの定義を紹介するパネルを展示して、普段あまり意識しない計量単位の定義についてや計量制度への理解を深めてもらうことができました。



自動捕捉式はかりの検定制度が始まりました

計量法施行規則、特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令が公布され、平成31年4月1日より施行されました。

これにより、自動はかりのうち自動捕捉式はかりに係る軽微な修理及び簡易修理の範囲や技術基準等が規定され、自動捕捉式はかりの検定制度が開始しました。

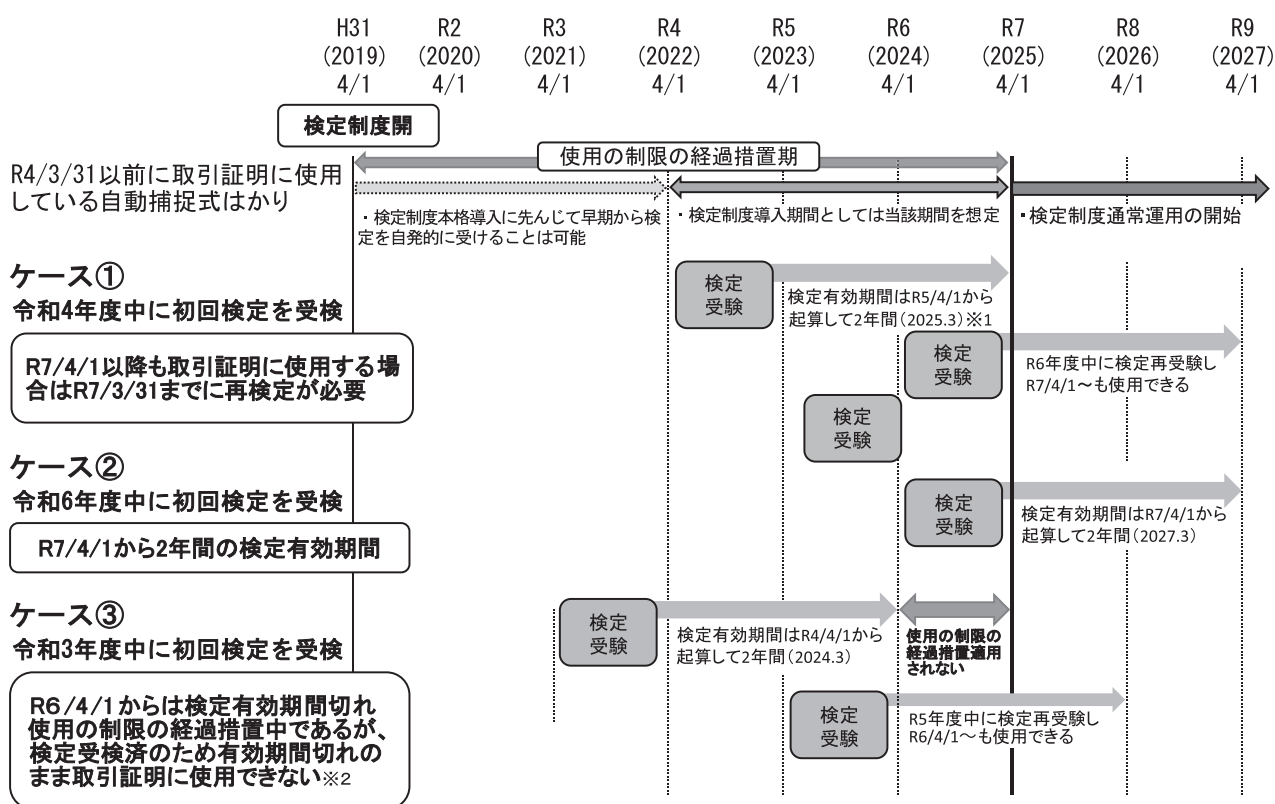
実際の検定実施については、指定検定機関が指定されていないなど体制が整っておらず、本格運用はまだこれからですが、検定有効期間の考え方についてまとめましたのでご紹介します。

・「すでに使用（令和4年3月31日までに取引又は証明に使用）している自動捕捉式はかり」は、令和7年3月31日までに検定を受け、合格する必要がある。

（使用の制限の経過措置※2により令和7年3月31日までは検定を受けずに取引証明に使用できる。）

・「すでに使用している自動はかり」として検定に合格した自動捕捉式はかりには、検定証印とともに確認済証が付され、以降も「すでに使用している自動はかり」として扱われる。

自動捕捉式はかりの検定有効期間の考え方



※1 自動はかりの検定有効期間は検定年度の翌年度の4月1日から起算する（検則第25条）

※2 使用の制限の経過措置：施行令附則第2条 別表

「適正計量管理事業所」で使用している自動はかりは検定有効期間が6年間と規定されています。

ただし、この「6年」は使用している自動はかりの変更届を提出してはじめて適用されます。

変更届の提出前に当該自動はかりの検定を受けることも制度上可能ですが、検定有効期間は「2年」となります。

DVDの貸出について

計量に関するDVDがありますので、是非ご活用してください。
ご希望がありましたら、借用書(下記様式)を事務局までお送り下さい。

- (1)「あなたの分銅は正確ですか? ～実用基準分銅の校正～」約 35 分
内容：はかりの定期検査などに用いられる実用基準分銅の校正方法について解説したものです。
- (2)「温度を正しく計るために ～ガラス製温度計の検査～」約 28 分
内容：ガラス製温度計の自主管理を行うとき検査方法を解説したものです。
- (3)「ちょっとした注意で正しい計量 ～量目不足を防ぐために～」約 25 分
内容：商品を計量販売する上での「正しい計量の知識」の一つ、商品の量目不足を未然に防ぐ「ちょっとした注意」を再現映像を通しわかりやすく解説しています。
- (4)「長さを正しく計測するために」(ノギス・マイクロメーター)約 41 分
内容：長さ測定器(ノギス・マイクロメーター)の取扱方法と自主管理における検査方法を分かりやすく解説したものです。
- (5)「包装に見る計量・計測」約 25 分
内容：食品業界の生産現場で行われている計量管理事例を紹介しながら、包装量目商品における計量管理の重要性を解説したものです。

「注」 なお、希望日が重複した場合は、事務局で調整させていただきます。
また、DVDソフト借用書は当協会ホームページからダウンロードできます。

D V D 借用書	
令和 年 月 日	
(一社)新潟県計量協会	
事務局 行	事業所名
	担当部課係
	担当者名
	電話番号
下記のとおり借用します。	
記	
1 DVD名	
2 借用期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

計量記念日ポスター・ 計量のひろばの配布について

一般社団法人日本計量振興協会の事業で毎年印刷配付しております、計量記念日ポスター並びに計量のひろばにつきまして、各会員の皆様へは、10月下旬に各1部ずつ配付いたします。

令和元年度のポスターは下記のとおりです。



【計量のひろば】



【計量記念日ポスター】

会員名簿の変更について

第 2 ブロック

- ・ パナソニック(株)エコソリューションズ社
名 称 パナソニック(株)エコソリューションズ社を
パナソニック(株)ライフソリューションズ社に変更

第 4 ブロック

- ・ ホリカフーズ(株)
担 当 者 坂大 和也 を 今井 勇 に変更
E - m a i l k.bandai@foricafoods.co.jp を
i.imai@foricafoods.co.jp に変更
- ・ (株)ブルボン
担当部課係 施設管理部施設管理三課を
施設管理部施設管理二課に変更
担 当 者 桑原 道友 を 黒坂 篤志 に変更
E - m a i l kuwahara-mic@bourbon.co.jp を
Kurosaka-atu@bourbon.co.jp に変更

第 5 ブロック

- ・ 日鉄住金工材(株)
名 称 日鉄住金工材(株)を
日鉄工材(株)に変更

※ 機関誌「計量管理」9月号の発行につきまして、掲載記事の
関係で、発行が遅くなりましたこと、深くお詫び申し上げます。

謹んで災害のお見舞いを申し上げます

9月に発生した台風15号は、関東に上陸した台風としては過去最高級で、千葉県
では停電によるさまざまな被害が発生し、県内でも一部地域で被害が発生しました。
被災され犠牲となられました皆様に、謹んで心よりお見舞い申し上げます。

編 集 後 記

平成から令和に元号が変わり、新しい時代を迎えて4か月が過ぎ
ようとしております。

計量協会も、新しい令和の時代とともに、会員の皆様のお役にた
てる事業が出来るように、活動して参りたいと考えております。
協会へのご理解とご協力、今後とも宜しくお願い致します。

【事務局】



はかりしれない技術を、世界へ。



はかる

つつむ

検査する

表示する

つなぐ

株式会社 **イシダ** www.ishida.co.jp

新潟営業所 新潟市中央区紫竹1-14-16 〒950-0864 TEL.(025)241-0444(直)
長岡サービスステーション 新潟県長岡市大島本町3-1-57 〒940-2112 TEL.(0258)22-5025(直)
本社 京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL.(075)771-4141(直)



SMile Self
スマイル
for Clinic



専門店・飲食店・医療分野・量販店様向け
販売促進や管理業務サポートなど、お客様に最適なサポートが
出来るよう、多彩なラインナップを取り揃えております。

株式会社 **協立商会**



新潟営業所 新潟市中央区鳥屋野345-16
長岡営業所 長岡市宝地町浦田311-1
上越営業所 上越市春日新田5-7-29
佐渡出張所 佐渡市両津裏3-1
本社 東京都世田谷区給田3-26-19

☎(025)282-3343
☎(0258)21-0122
☎(025)544-5658
☎(0259)24-7019
☎(03)3326-2151

防水型デジタル上皿はかり(検定品)

Yamato

Just NAVI

速くはかって キッチリ安心!

- ◆計量スピード30%UP
- ◆見やすい大型表示
- ◆素早い安定性
- ◆ステンレス載皿標準装備
- ◆定価 28,000円



大和製衡株式会社 新潟県総代理店
いつも新鮮な呼吸をしています。

高森コーキ株式会社

本社/〒955-8677 三条市南四日町4-8-18
TEL 0256-32-4041 FAX 0256-34-7502

ISO9000・HACCP 対応

— 金属検出機・X線検査機・コンピュータースケール・包装機器・各種計量器 —

基準天秤・基準分銅・コンパレーター・基準温度計・基準圧力計
基準巻尺・基準直尺・水銀式200tダイジニングボックス・コリメーター設置
引張試験器、等検査設備 クレーン3t設置、ウルトラマイクロ天秤、30kg日量
2mgコンパレーター設置、特級基準分銅F10IML型器差付設置

— 観測・記録(データ)点検・調整修理検査 —

各種基準分銅点検校正・各種試験機販売修理・校正証明書

販売



修理

株式会社 **高橋はかりや**

本社 加茂市矢立5番4号 TEL 0256-52-2121(代)
FAX 0256-52-7880

新潟営業所 新潟市中央区近江3丁目26番22号
TEL 025-284-3437(代)

“はかり”の販売・修理・検査から
計量システムの設計・メンテナンスまで、

お客様の“はかりたい”に応えます。

【業務内容】

- ・各メーカーの計量器及び自動機を取り扱い
- ・オーダー品、計量システムの設計、製作
- ・一般計量士による はかり の代検査
- ・はかりのJCSS校正



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、
認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されている
JCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、
アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び
国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。
当社(当法人、弊社等可)標準室(校正室、試験室等可)は、
国際MRA対応JCSS認定事業者です。
JCSS0231は、当標準室の認定番号です。

株式会社 新潟計量システム

本社 / 新潟市東区小金町1丁目14番31号 025-273-1058

上越 / 上越市五智1丁目17番20号 025-531-0860

<https://niigataks.co.jp/>

